

# DAIDO METAL

株主のみなさまへ

## 第108期 報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

Together To The Top

### CONTENTS

株主の皆様へ	1
第108回定時株主総会決議のご通知	1
連結決算ハイライト(対前期比)	1
営業のご報告	2
事業の概要	3
事業別製品の紹介	3
決算の状況(連結)	5
業績の推移(連結)	6
2017年3月期 通期業績予想	7
配当について	7
中期経営計画(Together To The Top)進捗レポート	7
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11

代表取締役会長  
兼最高経営責任者

判治誠吾

代表取締役社長  
兼最高執行責任者

樫山恒太郎

## 第108回定時株主総会決議のご通知

平成28年6月29日開催の当社第108回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

## 報告事項

- 第108期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第108期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

## 決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 取締役7名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案 役員賞与支給の件  
本件は、原案どおり承認可決されました。

## 連結決算ハイライト(前期対比)

## 1 連結決算概要 (2016年3月期)

## 売上高

売上高は814億円と、前期対比36億円(△4.3%)の減収となりました。  
 〈国内〉前期対比20億円の減収となりました。軸受生産の海外拠点への移管に加え、国内自動車生産台数の減少を受けて自動車関連が減少しました。建設機械向けも、海外需要低迷を受け輸出が減少しました。  
 〈海外〉円高の影響を主因に同15億円の減収となりました。ただし、現地通貨ベース(暦年)では、殆どの拠点で増加しました。

## 利益

〈営業利益〉前期対比5億円(△6.8%)の減益となりました。売上減少に伴う利益減少に加え、グローバルベースでの積極的な事業展開に伴う労務費など各種先行費用の計上や減価償却費等が増加しました。  
 〈経常利益〉同13億円(△16.4%)の減益となりました。中国他新興国や資源国通貨の下落の影響等による為替差損8億円を計上しました。  
 〈親会社株主に帰属する当期純利益〉同5億円(△12.1%)の減益となりました。

単位：百万円（百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入）

連結 過期業績	【前期】 2015/3月期	【当期】 2016/3月期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	85,015	81,400	△3,614	△4.3%
営業利益 (同利益率)	7,633 (9.0%)	7,114 (8.7%)	△519	△6.8%
経常利益 (同利益率)	8,129 (9.6%)	6,796 (8.3%)	△1,333	△16.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	4,459 (5.2%)	3,919 (4.8%)	△540	△12.1%

## 2 所在地別売上高・営業損益

〈国内〉売上高は、前期対比4.4%の減収となりました。営業損益も自動車関連や建設機械向けの減収を受けて減益となりました。

〈自動車関連〉国内自動車生産台数の減少や、国内軸受生産の海外移管等により売上は減少しました。

〈建設機械向け〉海外需要の低迷を受けて、輸出が減少しました。

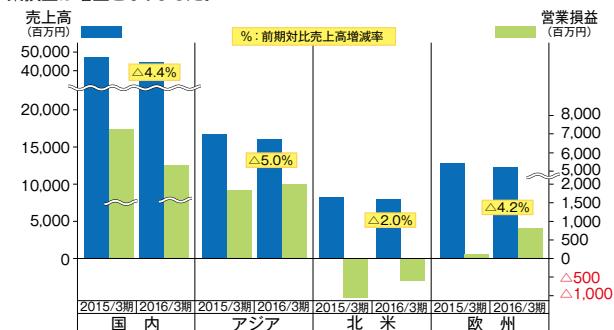
〈船舶向け〉中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売が輸出を含めて増加しました。

〈一般産業向け〉発電設備等のタービン用特殊軸受の需要が堅調に推移しました。また、電気二重層キャパシタ用電極シートの売上も増加しました。

〈アジア〉為替の影響が主因で、前期対比5.0%の減収となりました。ただし現地通貨ベース(暦年)では自動車関連は横ばいで推移しました。中国、タイが増加しましたが、韓国、インドネシア等が伸びませんでした。営業損益は増益となりました。

〈北米〉前期対比2.0%の減収となりました。建設機械向け需要の落ち込みに加え為替の影響を受けました。ただし、メキシコ新工場の生産拡大が寄与し、自動車関連が堅調に推移しました。営業損益は着実に改善が進んでいます。

〈欧州〉為替の影響が主因で、前期対比4.2%の減収となりました。船舶(中・小型船)向けが増加し、自動車関連も現地通貨ベース(暦年)では堅調に推移しました。営業損益は増益となりました。



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当期(2016年3月期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は814億円となり、前期に比べて36億14百万円(△4.3%)の減収となりました。

うち、国内は20億円の減収となり、当社グループのグローバル生産体制の推進による国内軸受生産の海外拠点への移管に加え、国内自動車生産台数の減少や、建設機械向け需要の低迷による影響を受けました。

また、円高の影響を主因に、海外は15億円の減収となりました。しかしながら、現地通貨ベース(暦年)の売上高で見た場合は、殆どの拠点で増加し、地域別では北米、欧州が増収、アジアは微増収となりました。北米は、メキシコ新工場の生産拡大を受けて自動車関連が増加しましたが、建設機械向けが減少し、加えて為替の影響を受けました。欧州は、船舶(中・小型船)向けが増加し、自動車関連も現地通貨ベース(暦年)では堅調に推移しました。アジアは中国、タイで増加したものの、韓国、インドネシア等が伸びず、現地通貨ベース(暦年)では自動車関連は横ばいにて推移いたしました。

利益面につきましては、国内での大同メタル佐賀(株)(軸受材料であるバイメタルの生産拠点)や大同インダストリアルベアリングジャパン(株)(中高速ディーゼルエンジン用軸受)の増設、海外における大同メタルメキシコS.A.DE C.V.の生産拡大に伴う設備増強等、グローバルベースでの積極的な事業展開に伴う労務費など各種先行費用の計上や、減価償却費の増加等により、営業利益は71億14百万円と前期に比べて5億19百万円(△6.8%)の減益となりました。地域別では、海外は、増収効果によって着実に損益の改善が進む北米をはじめ

め、欧州、アジアでも増益となりましたが、国内が減益となりました。

また、経常利益は、中国・その他新興国や資源国通貨の下落の影響等による為替差損8億23百万円を計上したことなどから67億96百万円と前期に比べて13億33百万円(△16.4%)の減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は39億19百万円と前年度に比べて5億40百万円(△12.1%)の減益となりました。

現在、当社グループでは、中期経営計画「Together To The Top (ともにトップを目指そう)」(2012年4月～2018年3月までの6ヵ年)に基づき、当計画の最終年度において、自動車用エンジン軸受や大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、すべり軸受の全ての産業分野での世界トップシェア獲得を実現すべく、2012年度から2014年度までの第1ステージでは事業基盤の拡充と再構築を図り、特に売上拡大に対応したグローバルベースでの生産能力の増強に取り組みました。

2015年度から2017年度までの第2ステージの最終年度において、当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成、並びに『すべり軸受の全ての産業分野での世界トップシェア獲得』の実現を目指すべく邁進してまいります。

常に、「DAIDO SPIRIT (夢・希望・挑戦)」を忘れずに、グループが一丸となって勇気ある挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

## 事業の概要

軸受(メタル)とは、回転する軸を支える部品です。エンジンを始め、回転する部分がある機械には必ずといってよいほど使用されており、機械の性能を左右するほどの重要な部品です。

大同メタルが製造しているのは「すべり軸受」(プレーン・メタル、平軸受とも言う)と呼ばれる軸受で、ボールベアリングなどの「ころがり軸受」とは異なります。

一般的に「すべり軸受」は、半永久的に寿命が長く、負荷能力(支えられる重さ)は速度とともに増加し、静かで、耐衝撃性があることから、自動車、船舶、建設機械などのエンジン用軸受等に適しています。

当社は、自動車のみならず、多種多様の産業分野の軸受を手掛ける、「総合すべり軸受メーカー」です。



半割メタル



スラストワッシャー



ブシュ

## 事業別製品の紹介

### 自動車用エンジン軸受

通常、自動車のエンジン部分には1台あたり平均で約20個の軸受が使用されています。当社はこの自動車用エンジン軸受において、世界シェア約31.8% (2015年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。



### 自動車用エンジン以外軸受(自動車部品用軸受)

自動車では、エンジン部分以外にも、いろいろな場所に多くの軸受が使用されています。中でも当社は、ターボチャージャー用軸受(スモールターボ)では世界シェア約32% (2015年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。また、ショックアブソーバー用軸受においても国内で極めて高いシェアを有しています。



スロットボディ用ブシュ



ターボチャージャー用  
スラストベアリング



ターボチャージャー用  
フローティングベアリング



パワーステアリング用  
ポンプブシュ



エアコン用チップシール  
(スクロールコンプレッサー)



ラックアンドピニオン  
ステアリングブシュ



ショックアブソーバー用  
ブシュ



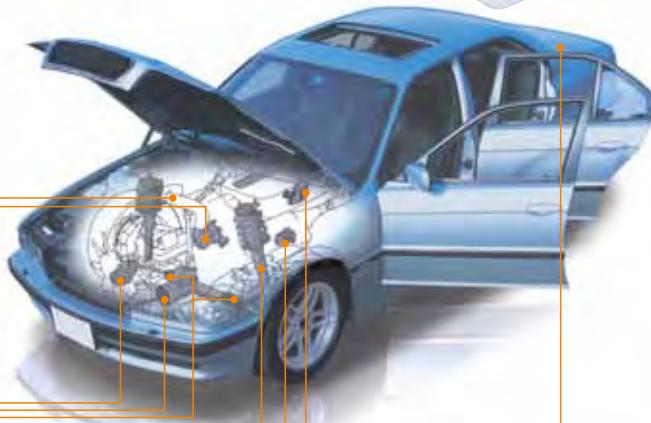
スターター用ブシュ



フロントリクライニング  
シート用ブシュ



トランクリッドブシュ/  
エンジンフードブシュ



## 建設機械・中小型船舶ディーゼルエンジン用軸受

ショベルカーなどの建設機械のエンジン部分・シリンダー部分や中小型船舶のエンジン部分に使用されています。当社は、建設機械・農業機械用の軸受においても国内外で高いシェアを有しています。



## 大型船舶エンジン用軸受

船舶のエンジンに用いられる軸受は、大きいものでは内径1メートルにもおよびます。当社は大型船舶用の軸受においても世界で約50%（2015年暦年当社推定）のトップシェアを有しています。



## 一般産業用軸受・その他

オフィス用機器はもとより水力・火力などの発電設備、高速車輛、鉄道事業、免震・制振装置など、多種多様な産業分野の軸受を手掛けています。また、ロータリーポンプ、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シートなど、軸受以外の潤滑技術応用製品も開発・販売しています。



(左) TPJB (ティルティングパッドジャーナルベアリング)  
(右) TPTB (ティルティングパッドスラストベアリング)



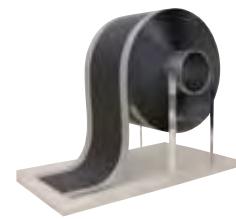
ドライベアリング



集中潤滑装置 (MR-LUB)



ロータリーポンプ



電気二重層キャパシタ用  
電極シート

## 連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目/期別		前期 (2015年3月31日)	当期 (2016年3月31日)
資産の部	流動資産	58,755	60,002
	固定資産	57,778	62,918
	有形固定資産	50,082	55,324
	無形固定資産	1,977	2,124
	投資その他の資産	5,717	5,469
	<b>資産合計</b>	<b>116,533</b>	<b>122,920</b>
負債の部	流動負債	37,355	40,337
	固定負債	26,083	30,434
	<b>負債合計</b>	<b>63,439</b>	<b>70,772</b>
純資産の部	株主資本	41,850	45,729
	資本金	7,273	7,273
	資本剰余金	7,946	8,821
	利益剰余金	28,051	31,055
	自己株式	△ 1,420	△ 1,421
	<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,730</b>	<b>△ 1,753</b>
	その他有価証券評価差額金	1,250	886
	為替換算調整勘定	1,340	△ 159
	退職給付に係る調整累計額	△ 860	△ 2,480
	非支配株主持分	9,512	8,172
	<b>純資産合計</b>	<b>53,093</b>	<b>52,148</b>
	<b>負債純資産合計</b>	<b>116,533</b>	<b>122,920</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目/期別	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,763	9,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,627	△ 13,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	626	4,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	386	△ 217
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,147	780
現金及び現金同等物の期首残高	11,427	12,595
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	20	-
現金及び現金同等物の期末残高	12,595	13,376

## 連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目/期別	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
売上高	85,015	81,400
売上原価	62,068	58,599
<b>売上総利益</b>	<b>22,946</b>	<b>22,801</b>
販売費及び一般管理費	15,312	15,686
<b>営業利益</b>	<b>7,633</b>	<b>7,114</b>
営業外収益	1,252	1,153
営業外費用	757	1,472
<b>経常利益</b>	<b>8,129</b>	<b>6,796</b>
特別利益	436	202
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>8,565</b>	<b>6,999</b>
法人税、住民税及び事業税	3,221	2,151
法人税等調整額	△ 344	82
<b>当期純利益</b>	<b>5,687</b>	<b>4,765</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	1,228	845
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>4,459</b>	<b>3,919</b>

## 連結株主資本等変動計算書

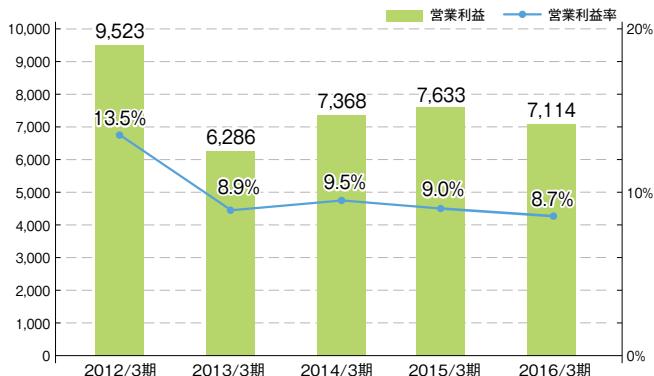
当連結会計年度（2015年4月1日～2016年3月31日） 単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目/期別	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
<b>当期首残高</b>	<b>41,850</b>	<b>1,730</b>	<b>9,512</b>	<b>53,093</b>
<b>当期変動額</b>				
剰余金の配当	△ 915			△ 915
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,919			3,919
自己株式の取得	△ 1			△ 1
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動	875			875
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		△ 3,484	△ 1,339	△ 4,824
<b>当期変動額合計</b>	<b>3,878</b>	<b>△ 3,484</b>	<b>△ 1,339</b>	<b>△ 945</b>
<b>当期末残高</b>	<b>45,729</b>	<b>△ 1,753</b>	<b>8,172</b>	<b>52,148</b>

## ❖ 売上高



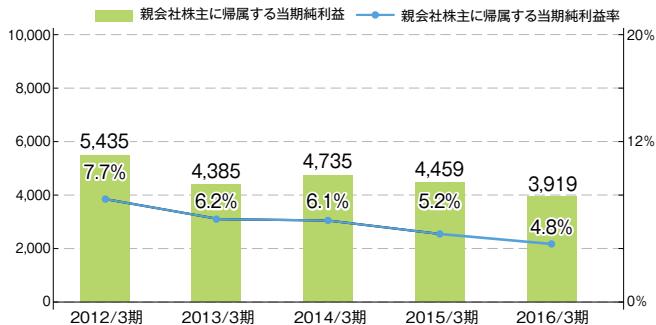
## ❖ 営業利益



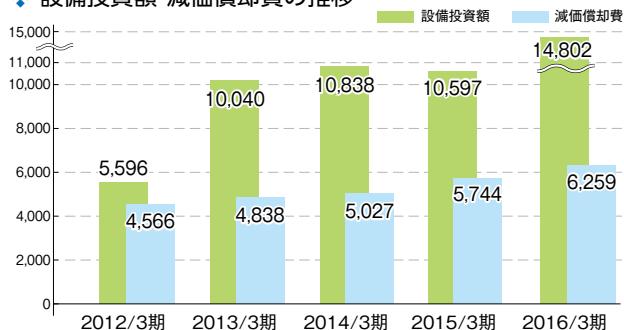
## ❖ 経常利益



## ❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



## ❖ 設備投資額・減価償却費の推移



## ❖ 主要財務指標

	2013/3 末	2014/3 末	2015/3 末	2016/3 末	対前期末比
自己資本当期純利益率 (ROE)	14.2%	13.1%	10.8%	9.0%	△ 1.9P
自己資本比率	36.3%	37.3%	37.4%	35.8%	△ 1.6P
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	17,159	15,844	17,964	23,237	+5,272

次期の市場環境につきましては、当社グループの主要産業分野である自動車業界は、世界最大の自動車市場である中国においては、伸び率が鈍化したものの引き続き需要拡大が見込まれ、北米・欧州市場は堅調さを維持し、インド等においても需要拡大が見込まれるなど、世界全体の新車販売台数は増加基調が継続するものと予想されます。

非自動車分野における造船業界につきましては、船腹過剰の解消には今暫く時間を要するものと予想されます。建設機械業界につきましては、国内は引き続き官民の建設投資等の需要が継続する一方、海外の需要回復は2018年3月期以降と予想され、全体では需要の減少が見込まれます。一般産業分野につきましては、発電設備等に使用される特殊軸受の堅調な需要及び電気二重層キャパシタ用電極シートの売上増加が見込まれます。

当社グループは、引き続き中期経営計画に基づき、自動車用エンジン軸受のみならず、すべり軸受の全ての産業分野においてグローバルビジネスの拡大を推進するとともに、更なるコスト削減と利益創出に努めてまいります。

単位：百万円（百万円未満四捨五入、比率は表示単位未満四捨五入）

通期 連結業績	【当期】 2016年3月期 (実績)	【次期】 2017年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	81,400	81,500	+99	+0.1%
営業利益 (同利益率)	7,114 (8.7%)	7,700 (9.4%)	+585	+8.2%
経常利益 (同利益率)	6,796 (8.3%)	7,700 (9.4%)	+903	+13.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (同利益率)	3,919 (4.8%)	5,000 (6.1%)	+1,080	+27.6%

※次期想定為替レート：105円/米ドル、120円/ユーロ

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 配当について

当期の期末配当につきましては、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果「1株当たり13円」といたしたいと存じます。これにより、中間配当実績「1株当たり13円」を加えた当期の年間配当は「1株当たり26円」となります。

なお、次期の配当につきましては、当期に比べて年間4円増配し、中間配当「1株当たり15円」、期末配当「1株当たり15円」の、年間配当「1株当たり30円」を予定しております。

	【前期】 2015年3月期	【当期】 2016年3月期	【次期】 2017年3月期
中間	10円	13円	予想 15円
期末	10円	13円	予想 15円
年間配当	20円	26円	予想 30円

年間6円増配

年間4円増配予定

## Stage 1 2012年度～2014年度

### 第1ステージの総括

時 期	拠点 及び 内容	進捗状況
第1ステージ (2012年度～ 2014年度)	ダイナメタル CO.,LTD.(タイ) 第3工場	完成
	大同精密金属(蘇州)有限公司 第2工場	完成
	大同メタルチェコ s.r.o. 第2工場	完成
	PT. 大同メタルインドネシア 第2工場	完成
	大同メタルメキシコ S.A. DE C.V. 新工場	完成
	大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.	設立
	欧州テクニカルセンター(チェコ)	設置

### 拡販・開拓

- 2012年 BMW社より「3シリーズ」と「1シリーズ」に搭載する新型ディーゼルエンジン用軸受受注
- 2013年 アルストム社と水力発電設備用スラストベアリングパッドの供給契約を締結
- 2014年 ボルボ社より新型のガソリン及びディーゼルエンジン向け軸受を新たに受注

## Stage 2 2015年度～2017年度

### 第2ステージの計画・進捗

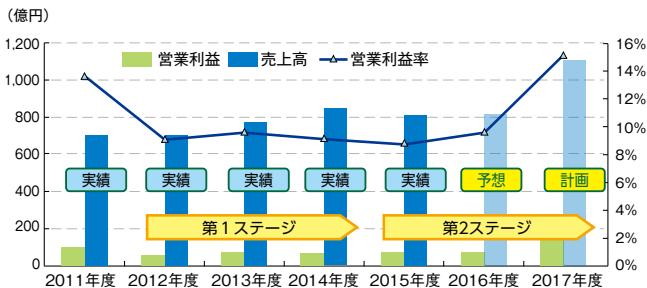
時 期	拠点 及び 内容 (予定を含む)	進捗状況
第2ステージ (2015年度～ 2017年度)	大同メタル佐賀(株)設立 軸受材料(パイメタル)等工場	2015年4月 設立 2016年6月 稼働
	自動車用エンジン軸受工場立ち上げ(インド)	2015年9月 稼働
	自動車用エンジン軸受の生産能力増強(韓国)	第2ステージ 期間中
	トラック用エンジン軸受事業の立ち上げ(ロシア)	第2ステージ 期間中

## トップシェア実現のための事業基盤再構築期間

### ❖ 中期経営計画の重点テーマ



## チャレンジ目標・計画



売上高	703 億円	708 億円	773 億円	850 億円	814 億円	815 億円	1,110 億円
営業利益	95 億円	62 億円	73 億円	76 億円	71 億円	77 億円	167 億円
営業利益率	13.5%	8.9%	9.5%	9.0%	8.7%	9.4%	15%以上

## すべり軸受の全ての産業分野で世界トップシェアを実現する

### 主要施策

- 佐賀県に軸受材料(バイメタル)等の製造工場を設立(2016年6月稼働)  
— 材料生産設備の増強を図り事業基盤を強化
- 欧州の2拠点(英国、チェコ)に続き、米国にも設計・研究開発拠点を設置しグローバルにお取引先の設計・研究開発をサポート
- 新興国等の為替リスクに対する対策の強化 — 為替差損の顕在化を抑制
- 北米事業の2017年3月期 通期黒字化



### メキシコ工場 レポート

メキシコ工場におけるキャッシュフロー(営業利益+減価償却)は、2016年3月期 第3四半期で黒字化

2017年3月期通期黒字化を見込む



大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.

## 当社グループの業界グローバルシェア

※シェアは当社推定

	2010年暦年 (中期経営計画 立案前)	2015年暦年	第2ステージ 最終目標値 (2017年度)
自動車エンジン用半割軸受 (TOP)	30%	31.8%	40%
ターボチャージャー用軸受 (スモールターボ) (TOP)	26%	32%	40%
低速ディーゼルエンジン用軸受 (大型船舶用) (TOP)	53%	50%	60%
中高速ディーゼルエンジン用軸受 (建設機械・中小型船舶用)	30%	19%	35%
回転機械用軸受 ★ (発電用タービンなど)	—	3%	6%
ポリマー軸受 (一般産業用)	10%	12%	16%

★第1ステージ中に組織変更(TMBS 事業部設立)に伴う、中期経営計画立案前シェアは非適及のため「-」表示。

会社概要

(2016年3月31日現在)

設立	1939年(昭和14年)11月4日
資本金	7,273百万円
従業員数	連結4,637名 / 個別1,285名
事業内容	<p>●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルancer機構)用軸受など</p> <p>●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など</p> <p>●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など</p> <p>●その他 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート事業、不動産賃貸事業など</p>

本社	名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング13階
東京本社	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階

国内生産拠点	<p>犬山工場(犬山事業所内) 前原工場(犬山事業所内)</p> <p>バイメタル製造所(犬山事業所内) 岐阜工場</p> <p>TMBS工場(犬山事業所内)</p> <p>TMBS = Turbomachinery Bearing Systems (回転機械用軸受)</p>
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、浜松営業所、広島営業所、九州営業所、北関東営業所(2015年4月1日開設)

関係会社	●国内
生産	大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社(2015年4月10日設立)
販売	大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社
物流	大同ロジテック株式会社
不動産賃貸	株式会社アジアケルメット製作所

●海外(主な拠点)	【アジア】
	<p>中原大同股份有限公司(台湾) PT.大同メタルインドネシア(インドネシア)</p> <p>同晟金属株式会社(韓国) BBL大同プライベートLTD.(インド)</p> <p>ダイナメタルCO.,LTD.(タイ) 韓国ドライベアリング株式会社(韓国)</p>

●中国	大同精密金属(蘇州)有限公司(中国)
-----	--------------------

●ヨーロッパ	大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(イギリス) 大同メタルチェコ s.r.o.(チェコ)
	大同メタルコートールAD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD.(イギリス)
	大同メタルドイツ GmbH(ドイツ) 大同メタルロシア LLC(ロシア)

●北米	大同メタル U.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.(メキシコ)
	大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.(メキシコ)

役員

(2016年7月1日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判治 誠吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	榎山 恒太郎
取締役 兼専務執行役員	佐々木 利行(昇任)
取締役 兼常務執行役員	河村 康雄
取締役 兼常務執行役員	井川 雅樹
☆ 取締役	武井 敏一
☆ 取締役	星長 清隆(新任)
常勤監査役	玉谷 昌明
☆ 監査役	田辺 邦子
☆ 監査役	松田 和雄

【注】☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

常務執行役員	岡 戸 篤(昇任)
常務執行役員	小 暮 圭一(昇任)
常務執行役員	吉 田 秀雄(昇任)
上席執行役員	佐 藤 善昭
上席執行役員	三 代 元之
上席執行役員	宮 脇 敏之
上席執行役員	鬼 頭 幸裕(昇任)
執行役員	伊 藤 吉明
執行役員	浅 井 眞吾
執行役員	佐 々 木 秀明
執行役員	古 川 智充(新任)
執行役員	平 松 伸隆(新任)
執行役員	吉 田 有宏(新任)
執行役員	橋 口 俊哉(新任)
執行役員	墓 越 繁昌(新任)

## 株式事項 (2016年3月31日現在)

### ❖ 株式の状況

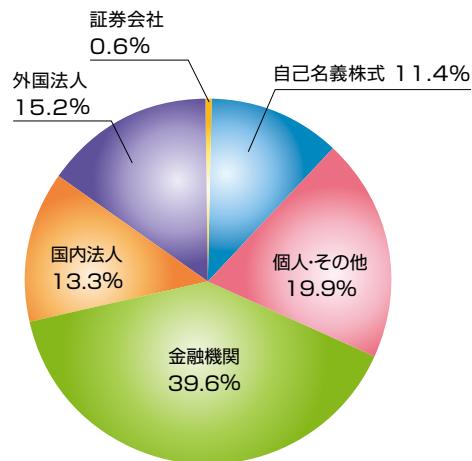
発行可能株式総数 80,000,000 株  
 発行済株式の総数 44,956,853 株 (自己株式 5,140,389 株を含む)  
 株主数 3,961 名

### ❖ 大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,016
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,974
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
大同メタル友栄会持株会	1,236
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 380578	1,069
ザセリワタナ イングストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
日新製鋼株式会社	909

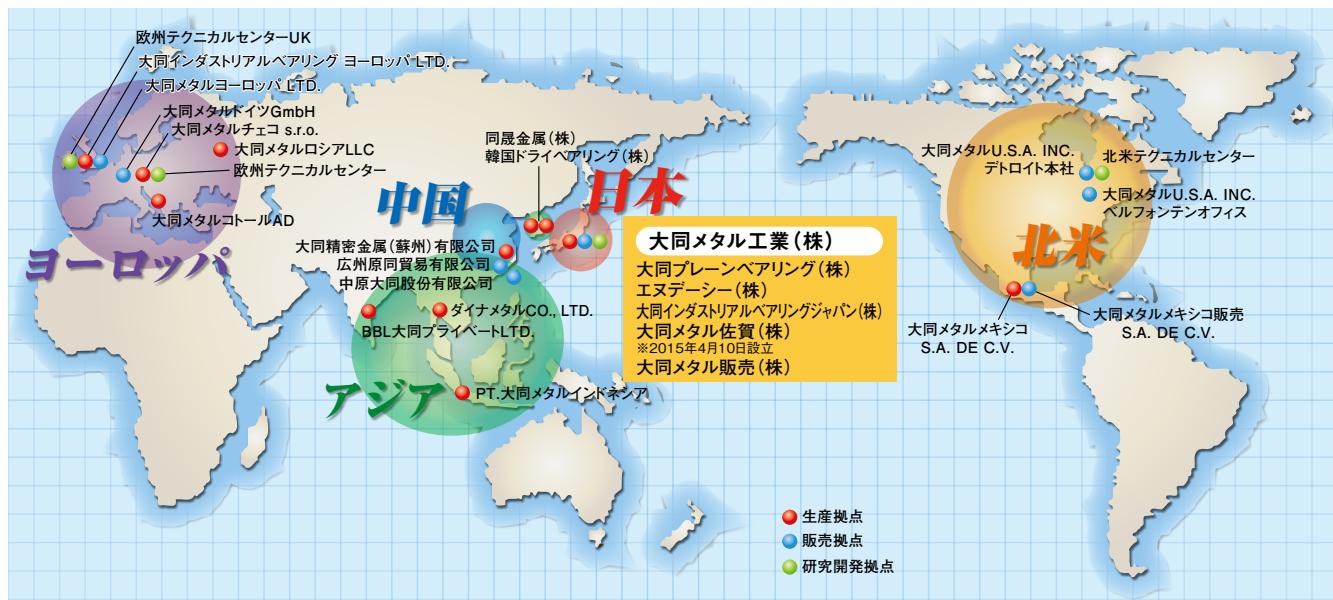
(注)当社は自己株式5,140,389株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

### ❖ 所有者別株式保有状況



## グローバルネットワーク(主な拠点)

(2016年7月1日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ ( <a href="http://www.daidometal.com/">http://www.daidometal.com/</a> ) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

## 株式に関する諸手続のご案内

### 住所変更、単元未満株式の買取等 お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)  
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00 ~ 17:00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社

**DAIDO METAL**

<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した  
「植物油インキ」を  
使用しています。



適切に管理された森林で  
生産されたことを示す「FSC®」  
認証紙を使用しています。